

やましん歌壇掲載歌＜第41回＞

短歌		平成26年3月～平成31年4月	令和1年5月～
	掲載短歌	～ 上記期間の作品の紹介は 第36回で終了しました ～	R6年4月：人参の蒂を小皿にのせ置きて 目をかけ声かけ愉しむ厨（**）：佐藤幹夫選（筆頭三席） ＜選評＞日あたりの宵キッチン。水栽培で人参の蒂（へた）から葉を伸ばすのか。 「目をかけ声かけ」が如何にも楽しそう。再生、持続の意識も歌の底にありそうだ。 R6年5月：茎立ちてクリスマスローズ群れており 雪解（ゆきげ）に目覚むる眠り姫のごと（*）：井上管子選
共同制作の写真短歌（*）&写真短歌（**）	*・・写真も短歌も自身の作品 *・・他人の写真に自身の短歌	～ 上記期間の作品の紹介は 第36回で終了しました ～	写真短歌・写真俳句・その他「投稿」フォーム  撮影者：五十嵐 井（鶴岡市社会福祉協議会） 撮影地：鶴岡市 詠草・編集：黒澤 志志 令和6年3月14日付け「やましん歌壇」掲載歌（佐藤 幹夫選 筆頭三席） 写真短歌  写真撮影地：山形市自宅 短歌：令和6年5月26日付け「やましん歌壇」掲載歌（井上 管子選） 知人（五十嵐氏）がFacebookに投稿された写真 & ツイートに当方が詠草を添え、了承をいただいて 共同制作の写真短歌作品に仕立てました。
作品	短歌	下記の写真短歌の短歌を含めて86首	下記の写真短歌の短歌を含めて121首（令和8年6月まで）
	写真短歌	38作品 （自身の作品：37＋共同制作：1）	86作品（自身の作品：55＋共同制作：31）